

令和4年第21回公安委員会会議録

日 時	9月15日（木曜日）		自午後 1時30分 至午後 4時00分	場 所	公安委員会室
	会 議	公安委員	小野委員長 宮尾委員 廣塚委員 甲斐委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長			
		交通部長 警備部長 情報通信部長			

第1 定例会議

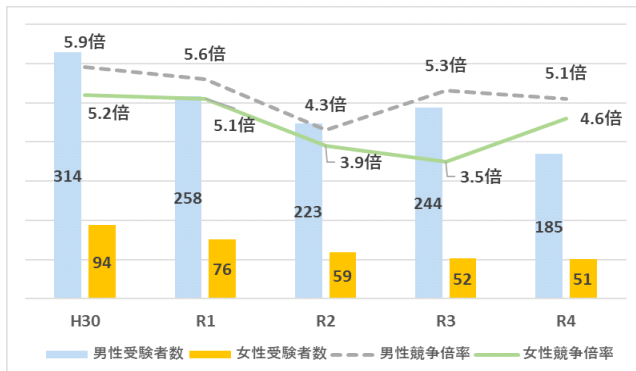
1 令和4年度警察職員採用試験の実施結果等について

(1) 大学卒業程度（警察官A及び警察行政）の実施結果

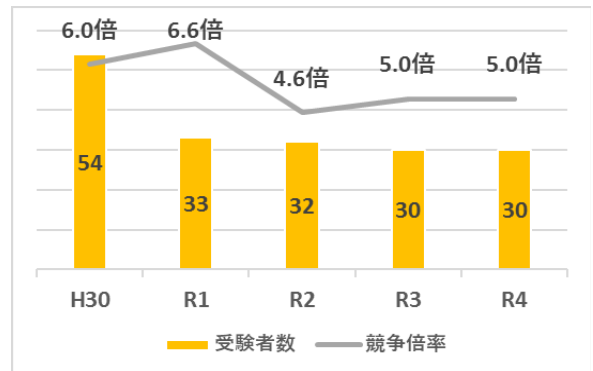
- 警察官A（男性）
受験者数 185人（-59人）、競争倍率 5.1倍（-0.2ポイント）
合格者数 36人（-10人）
- 警察官A（女性）
受験者数 51人（-1人）、競争倍率 4.6倍（+1.1ポイント）
合格者数 11人（-4人）
- 警察行政
受験者数 30人（±0人）、競争倍率 5.0倍（±0ポイント）
合格者数 6人（±0人）

※（ ）は前年比、競争倍率は受験者数を合格者数で除したもの

【警察官A（過去5年間）】



【警察行政（過去5年間）】

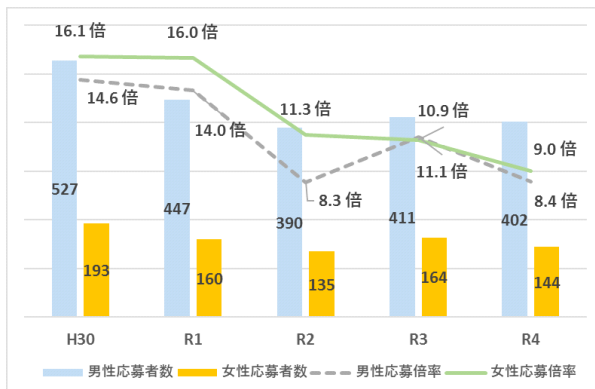


(2) 高校卒業程度（警察官B及び警察事務）の応募状況

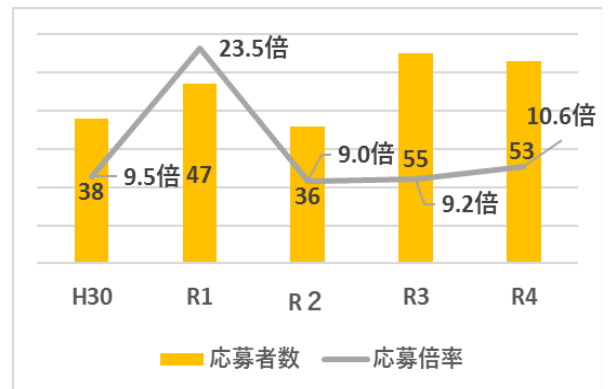
- 警察官B（男性）
採用予定人員 48人程度（+11人）
応募者数 402人（-9人）、応募倍率 8.4倍（-2.7ポイント）
- 警察官B（女性）
採用予定人員 16人程度（+1人）
応募者数 144人（-20人）、応募倍率 9.0倍（-1.9ポイント）
- 警察事務
採用予定人員 5人程度（-1人）
応募者数 53人（-2人）、応募倍率10.6倍（+1.4ポイント）

※（ ）は前年比、応募倍率は応募者数を採用予定人員で除したもの

【警察官 B（過去 5 年間）】



【警察事務（過去 5 年間）】



【委員からの質問等】

- 委員から、「女性警察官が増えてきていることは、県民の一人としてうれしく思う。令和 8 年度までに女性警察官の割合を 12%にするという目標値があったが、女性の採用は増やしていくのか。」旨の質問があり、警察側から、「目標達成に向け、計画的に採用を進めていく。」旨の説明があった。
- 委員から、「大学では、学校教育から離れた社会人に教育の場を与える『リカレント教育』に力を入れようという考えがある。県警では高校卒業程度の採用割合を増やしたということであるが、リカレント教育というか、高校を卒業後、すぐに警察官になるため学べなかったことを警察教養の中で取り入れていくことは、DX推進等のこれからの社会で必要とされる人材を育成するためにも重要だと思う。」旨の意見や、「リカレント教育を行うのであればその中に、語学教育は取り入れた方がいい。」旨の意見があった。
- 委員から、「多様な人材を採用するという観点で、行政では経験者採用試験などを行っているが、警察では実施しないのか。」旨の質問があり、警察側から、「中途者だけを対象とした試験は実施していないが、社会人を経験しても受験できるように、採用試験受験者の年齢を設定している。」旨の説明があった。

第 2 報告・決裁等

- 1 地方公務員法の一部改正に伴う定年引上げについての報告
警務課長から報告が行われた。
- 2 令和 4 年全国優良警察職員表彰受賞者の決定についての報告
首席監察官から報告が行われた。
- 3 苦情（R4. No.13）調査結果についての決裁
生活安全企画課課長補佐から説明があり、決裁が行われた。
- 4 令和 4 年第 19 回公安委員会会議録の決裁
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 5 苦情（R4. No.16）受理の報告
公安委員会事務室から報告が行われた。